

2021年度 学校関係者評価報告書

公益社団法人北部地区医師会北部看護学校

学校関係者評価

公益社団法人北部地区医師会北部看護学校関係者評価委員会は「2021年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて保護者、卒業生、業界関係者評価を実施しましたので報告致します。

【学校評価の結果】

評価基準は、基準1～10までの大項目、37中項目、262小項目の評価指標について自己評価を行った後、学校関係者評価を実施し最終評価としました。

評価基準：4段階評価(4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切)

表1

大項目	平均点	関係者評価委員の意見
基準1 教育理念	3.6	・検討課題なし
基準2 学校運営	3.8	・2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響も考えられると思われるが、教務のカウンセリングに関する面接件数が多く、学生が利用しやすい「ホットライン相談窓口」等の環境に関する提案については検討中。
基準3 教育活動	3.8	・臨床現場も看護基礎教育が把握できてないと看護師教育ができないため、TA研修や外来講師派遣には積極的に協力したい。学校と連携して看護教育の質を高めていきたい。 ・教員は専任教員養成講習会受講者又は大学で教育学を4単位修得した者となっているが、その条件に満たない教員がいる現状をどう考えるのか？ 2022年度は沖縄県で看護教員養成講習会が開催されるため、3名受講予定。 ・2022年度実施のカリキュラム改正に向けて、企業の保健室・健診センターでの実習は地域・在宅看護論に位置づけされていないのはなぜかという疑問があったが、地域との取り組みでもあるが、生活者の視点、社会人としての視点で健康増進を考え、成人看護学実習に位置づけ、講義では1年次から地域・在宅看護論に位置づけている。
基準4 学修成果	3.7	・就職率は看護師として就職率を表記すべき。例：看護師国家試験不合格者で准看護師として就職数、補助員として就職数等を明確にして欲しい。
基準5 学生支援	3.6	・休学・退学者の低減に努めて欲しい。
基準6 教育環境	4.0	・法令遵守に関しては、これまでと同様、専修学校設置基準、看護師等養成の運営に関する指導ガイドラインを踏まえている。
基準7 学生の募集と受け入れ	3.8	・看護師になる志望動機が弱い学生は、就職後も退職に繋がっている事例があるため、休学・退学者が発生すると学校運営に影響を及ぼすため、入試選抜等を検討して欲しい。
基準8 財務	3.6	・休学、退学者の増加は経営面に影響するので休学・退学者の減少に努めてもらいたい。
基準9 法令等の遵守	4.0	・検討課題なし
基準10 社会献・地域貢献	3.0	・コロナ禍でボランティア活動はできなかったが継続して欲しい。